



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社 アテクト 上場取引所 東
 コード番号 4241 URL <https://www.atect.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 大西 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部部長 (氏名) 菅原 健夫 (TEL) 0748-20-3400
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	2,507	3.4	161	174.7	168	245.6	118	343.7
(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期		△1.0	58	△48.3	48	△61.1	26	△69.5
			151百万円(—%)	2025年3月期第3四半期		8百万円(△93.3%)		

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	26.91	—
2025年3月期第3四半期	6.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	4,849	1,821	37.6
2025年3月期	4,686	1,714	36.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 1,821百万円 2025年3月期 1,714百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社（社名） 、除外 一社（社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2026年3月期3Q | 4,436,800株 | 2025年3月期 | 4,436,800株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年3月期3Q | 15,969株 | 2025年3月期 | 15,873株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2026年3月期3Q | 4,420,831株 | 2025年3月期3Q | 4,420,927株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の当社グループにおける連結業績は、前年同期比で増収増益となりました。

半導体資材事業においては、スペーサーテープの需要は当第3四半期連結会計期間において大幅に回復しましたが、上半期までの需要減速の影響を吸収できず減収となりました。一方で衛生検査器材事業においては、引き続き旺盛なインバウンド需要に伴う外食産業の伸長が継続しているとともに、内食・デリバリー及びテイクアウト需要についても安定的に推移した結果、増収となり当第3四半期連結累計期間での売上高は過去最高を更新しました。

PIM事業においても自動車用ターボ部品の量産出荷が安定稼働したことに加え、高機能部品の販売が堅調に推移した結果、増収となり当第3四半期連結累計期間での売上高は過去最高を更新しました。

利益面では、継続的な製品販売価格の適正化や原材料価格の圧縮、各事業における生産性改善活動等が実を結ぶ結果となり大幅な増益となりました。

引き続き地道な製品販売価格の適正化や原材料価格の交渉、各事業における生産性改善活動の継続により利益の確保に努めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,507百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益161百万円（前年同期比174.7%増）、経常利益168百万円（前年同期比245.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は118百万円（前年同期比343.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

① 半導体資材事業

当事業においては、当第3四半期連結累計期間での販売数量は4,718万mとなりました。例年の傾向では第3四半期連結会計期間にパネルメーカーの稼働率が大きく悪化し、比例するようにスペーサーテープの販売数量も減少傾向にありましたが今年度はパネルメーカーの稼働率が堅調に推移したこと、第2四半期連結会計期間に新規受注した特定顧客への販売数量の増加が奏功し、比較的好調な受注を維持しております。

一方で円安、インフラコスト上昇等の影響を受け原材料・副資材及び輸送費等の値上がりが相次ぎ、利益を圧迫する形となりました。引き続き利益の改善を図るべく代替品の検討を含め原価低減に注力してまいります。

足元、第4四半期連結会計期間以降も堅調に推移する見通しですが、急な変動にも備え、日韓二拠点の生産体制、人員配置の最適化も進めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は842百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益68百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

②衛生検査器材事業

当事業においては、旺盛なインバウンド需要が継続し外食関連の市場は引き続き堅調に推移しており、加えて内食・デリバリー及びティクアウト需要も底堅く、当社の主要顧客における販売活動を下支えしております。また、今年度の最重要テーマとしてきた販売価格の適正化が進んだことにより、当第3四半期連結累計期間においての販売活動は順調に推移しております。一方で利益の圧迫要因となっているP S (ポリスチレン) 材を含む原材料価格については継続的な価格交渉を続けておりますが依然として高い水準で推移しております。

また、為替においては円安基調での不安定な傾向が当面続くとみられており、輸入原材料価格の動向について注視し、少しでも安値に仕入れができるよう引き続き注力してまいります。

このような背景のもと、新製品である簡易型微生物検出用培地『a S - M e d i u m』においては、用途別・菌種別のラインナップを整え、今年度内の販売開始に向けた最終段階に入っております。

引き続き既存製品群の安定供給と利益の確保に努めるとともに、新製品の市場定着と拡販により、事業の成長と収益性の向上を両立させてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,467百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益186百万円（前年同期比100.2%増）となりました。

③P I M (パウダー・インジェクション・モールディング) 事業

当事業においては、自動車・産業機器分野の主要顧客からの受注及び売上は概ね計画通りに推移いたしました。製品別では、自動車用ターボ部品の量産が前年度よりも安定的に稼働し、引き続きP I M事業全体の売上を牽引しております。高機能部品（セラミックス部品、ベアリング用部品、光学系パーツ等）も底堅い需要が継続し、安定した出荷が続いております。

一方で利益面では、新製品の立ち上げや設備保全対応等が影響し、依然として採算面に課題が残る状況ではあるものの、業務全体にわたる改善活動を着実に積み重ねているところです。

特に製造工程においては、歩留まり向上・設備の安定稼働・段取り短縮及び作業標準の見直し等の活動を通じて、生産性の向上及び品質の安定化に継続的に取り組んでおります。今後も、生産現場主導の業務改善を継続し、安定供給体制と品質競争力の向上に努めてまいります。また、原価低減活動の強化と生産効率の最大化を通じて、収益性の早期回復を目指してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は197百万円（前年同期比19.7%増）、営業損失93百万円（前年同期は営業損失105百万円）となりました。

(2)当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

総資産は、4,849百万円（前連結会計年度末は4,686百万円）、163百万円の増加（前連結会計年度末比3.5%増）となりました。これは、「売掛金」が87百万円、「投資有価証券」が100百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

負債は、3,027百万円（前連結会計年度末は2,971百万円）、55百万円の増加（前連結会計年度末比1.9%増）となりました。これは、「電子記録債務」が121百万円、「短期借入金」が50百万円、「1年内返済予定の長期借入金」が24百万円、「未払法人税等」が28百万円増加する一方、「長期借入金」が164百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

純資産は、1,821百万円（前連結会計年度末は1,714百万円）、107百万円の増加（前連結会計年度末比6.2%増）となりました。これは、「利益剰余金」が74百万円、「為替換算調整勘定」が32百万円増加したこと等によるものです。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月13日付で通期の業績予想を修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	467,800	532,814
受取手形	921	590
売掛金	477,690	565,283
電子記録債権	5,996	※1 9,683
商品及び製品	231,410	248,152
仕掛品	45,082	48,587
原材料及び貯蔵品	263,696	266,730
その他	31,677	30,158
貸倒引当金	△2,800	△2,588
流動資産合計	1,521,474	1,699,412
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	939,277	904,214
機械装置及び運搬具（純額）	350,188	281,946
土地	1,536,001	1,536,001
建設仮勘定	40,101	45,978
その他	13,386	21,514
有形固定資産合計	2,878,955	2,789,654
無形固定資産		
その他	84,935	59,309
無形固定資産合計	84,935	59,309
投資その他の資産		
投資有価証券	-	100,000
繰延税金資産	195,252	195,889
その他	6,109	5,651
貸倒引当金	△658	△762
投資その他の資産合計	200,702	300,779
固定資産合計	3,164,593	3,149,743
資産合計	4,686,067	4,849,156

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	111,183	※1 123,189
電子記録債務	232,289	※1 354,262
短期借入金	350,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	663,368	688,109
リース債務	12,328	12,548
未払金	80,973	93,951
未払法人税等	22,787	51,531
前受金	719	559
賞与引当金	59,307	37,432
営業外電子記録債務	610	※1 6,316
その他	78,455	※1 66,013
流動負債合計	1,612,023	1,833,914
固定負債		
長期借入金	1,291,503	1,127,117
リース債務	37,200	27,761
退職給付に係る負債	27,948	35,504
その他	2,931	3,261
固定負債合計	1,359,584	1,193,644
負債合計	2,971,607	3,027,558
純資産の部		
株主資本		
資本金	822,266	822,266
資本剰余金	742,266	742,266
利益剰余金	188,602	263,363
自己株式	△8,006	△8,047
株主資本合計	1,745,130	1,819,849
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△30,670	1,747
その他の包括利益累計額合計	△30,670	1,747
純資産合計	1,714,460	1,821,597
負債純資産合計	4,686,067	4,849,156

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	2,425,410	2,507,461
売上原価	1,448,505	1,497,091
売上総利益	976,905	1,010,369
販売費及び一般管理費	918,174	849,022
営業利益	58,731	161,347
営業外収益		
受取利息	3,611	3,905
為替差益	-	9,244
助成金収入	728	2,581
その他	717	4,773
営業外収益合計	5,057	20,506
営業外費用		
支払利息	10,632	13,269
為替差損	3,781	-
その他	642	187
営業外費用合計	15,056	13,457
経常利益	48,731	168,395
特別利益		
固定資産売却益	648	20,074
特別利益合計	648	20,074
特別損失		
固定資産除却損	31	55
特別損失合計	31	55
税金等調整前四半期純利益	49,348	188,414
法人税等	22,533	69,444
四半期純利益	26,814	118,970
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,814	118,970

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	26,814	118,970
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△18,103	32,418
その他の包括利益合計	△18,103	32,418
四半期包括利益	8,711	151,388
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,711	151,388
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	半導体 資材事業	衛生検査 器材事業	PIM事業	その他の事業			
売上高							
外部顧客への売上高	852,843	1,396,256	164,842	11,468	2,425,410	—	2,425,410
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	852,843	1,396,256	164,842	11,468	2,425,410	—	2,425,410
セグメント利益又は 損失(△)	64,561	93,141	△105,552	6,580	58,731	—	58,731

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 「その他の事業」は賃貸先との契約による(不動産賃貸業)であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	半導体 資材事業	衛生検査 器材事業	PIM事業			
売上高						
外部顧客への売上高	842,576	1,467,600	197,285	2,507,461	—	2,507,461
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	842,576	1,467,600	197,285	2,507,461	—	2,507,461
セグメント利益又は 損失(△)	68,302	186,471	△93,427	161,347	—	161,347

(注) セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結累計期間において「その他の事業」(不動産賃貸業)について賃貸先との契約終了により社内使用をしていることに伴い、当第3四半期連結累計期間より「その他の事業」の区分を廃止しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※1. 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
電子記録債権	一千円	636千円
支払手形	一千円	2,000千円
電子記録債務	一千円	103,309千円
設備関係支払手形	一千円	835千円
営業外電子記録債務	一千円	587千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	192,781千円	158,349千円